



# 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 丸順  
 コード番号 3422 URL <http://www.maruiun.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 今川 喜章  
 (氏名) 青山 秀美

TEL 0584-48-2832

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	17,490	15.6	△54	—	△236	—	80	—
27年3月期第1四半期	15,135	4.3	△438	—	△589	—	△613	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △362百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △1,180百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	9.14	—
27年3月期第1四半期	△69.97	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	56,242	10,001	10.5
27年3月期	59,904	10,363	10.4

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 5,891百万円 27年3月期 6,251百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,000	7.7	50	—	△350	—	—	—	—
通期	69,000	8.3	1,300	—	240	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	9,771,000 株	27年3月期	9,771,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	1,004,922 株	27年3月期	1,004,922 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	8,766,078 株	27年3月期1Q	8,766,145 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費を中心に着実に回復を続けている一方、欧州では緩やかな回復基調にあるものの、持続的な成長経路に復するにはいまだ相当なステップが必要な情勢であります。アジア新興国では総じて安定した成長が続いているものの、そのペースは緩慢なものにとどまるなど、全体として一部に弱さを抱えながらも先進国を中心に緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループが属する自動車業界においては、米国ではガソリン価格の低下や長期の低金利自動車ローンやリースの提供などにより販売は好調である一方、中国では日系メーカーを中心に、過剰な流通在庫の適正化に向けた生産調整により国内生産、販売台数ともに前年同四半期を下回っております。日本では、新車販売の登録車が4月から6月にかけて3ヵ月連続で前年同月実績を上回ったものの、消費税率引き上げ前の水準には達しておらず、依然として需要低迷が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、平成27年5月より丸順構造改革プランをスタートさせ、事業ポートフォリオの変革や、資産売却、要員削減及び拠点集約によるボトム経営体質の構築を進め、収益力及び財務体質の強化を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は17,490百万円（前年同四半期比15.6%増）、営業損失は54百万円（前年同四半期は438百万円の営業損失）、経常損失は236百万円（前年同四半期は589百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は80百万円（前年同四半期は613百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

## (丸順)

丸順においては、主要顧客の減産等の影響を受けたことにより売上高は減少したものの、新機種立上げに伴う費用の減少、及び労務費の削減をはじめとする徹底した原価低減活動により利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は3,190百万円(前年同四半期比20.4%減)、経常利益は372百万円(前年同四半期比291.2%増)となりました。

## (タイ)

タイにおいては、依然として国内需要の低迷が危惧されるも、乗用車やピックアップトラックの堅調な輸出拡大により売上高は増加したほか、購入費及び経費などの削減に伴う製造原価の低減により損失は減少いたしました。

以上の結果、売上高は2,274百万円(前年同四半期比31.1%増)、経常損失は393百万円(前年同四半期は490百万円の経常損失)となりました。

## (広州)

広州においては、主要顧客の減産等の影響を受けるも、金型事業を中心とした専用設備の販売拡大により売上高は増加いたしました。しかしながら、償却費及び労務費などの増加による製造原価高により、利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は5,330百万円(前年同四半期比45.1%増)、経常損失は136百万円(前年同四半期は114百万円の経常利益)となりました。

## (武漢)

武漢においては、広州同様に主要顧客の減産等の影響を受け、償却費及び労務費などの固定費負担が相対的に増加したことにより、売上高、利益ともに前年同四半期を下回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,166百万円(前年同四半期比28.5%減)、経常損失は75百万円(前年同四半期は171百万円の経常利益)となりました。

(インディアナ)

インディアナにおいては、好調な市場に牽引される格好で売上高は増加したほか、品質安定化に伴う検査費用及び経費などの費用が減少したため、利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は5,623百万円(前年同四半期比34.8%増)、経常利益は463百万円(前年同四半期は166百万円の経常損失)となりました。

(四輪販売)

四輪販売においては、好調な中古車販売やサービス部門での収益により低迷する新車販売を下支えするも、償却費及び労務費などの営業費用の増加により、売上高、利益ともに前年同四半期を下回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は687百万円(前年同四半期比3.7%減)、経常損失は8百万円(前年同四半期は8百万円の経常損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、56,242百万円となり、前連結会計年度末と比較し、3,661百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が180百万円増加、仕掛品が1,672百万円減少、有形固定資産が1,043百万円減少、投資その他の資産が957百万円減少したことが要因であります。

負債総額は46,241百万円となり、前連結会計年度末と比較し、3,298百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が904百万円減少、短期借入金が108百万円減少、その他の流動負債が1,565百万円減少、長期借入金が924百万円減少、リース債務が211百万円減少したことが要因であります。

純資産は10,001百万円となり、前連結会計年度末と比較し、362百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が80百万円増加、その他有価証券評価差額金が472百万円減少したことが要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月15日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
(税金費用の計算) 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
(企業結合に関する会計基準等の適用) 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。) 及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、 当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。 企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。 なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額はありません。また、当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,579	3,760
受取手形及び売掛金	8,178	8,182
商品及び製品	518	607
仕掛品	3,156	1,483
原材料及び貯蔵品	1,536	1,693
その他	1,692	1,274
貸倒引当金	△78	△79
流動資産合計	18,582	16,923
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,235	9,148
機械装置及び運搬具(純額)	10,076	10,082
工具、器具及び備品(純額)	9,793	9,283
土地	2,243	2,248
リース資産(純額)	2,742	2,583
建設仮勘定	4,765	4,464
有形固定資産合計	38,855	37,811
無形固定資産	209	208
投資その他の資産		
その他	2,273	1,316
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,256	1,299
固定資産合計	41,321	39,319
資産合計	59,904	56,242

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,707	6,803
短期借入金	20,255	20,147
リース債務	894	861
未払法人税等	89	102
賞与引当金	19	170
その他	4,622	3,057
流動負債合計	33,588	31,142
固定負債		
長期借入金	12,781	11,857
リース債務	1,609	1,429
退職給付に係る負債	1,070	1,387
資産除去債務	87	88
その他	401	336
固定負債合計	15,951	15,099
負債合計	49,540	46,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	1,677	1,757
自己株式	△626	△626
株主資本合計	3,023	3,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	554	82
為替換算調整勘定	2,844	2,865
退職給付に係る調整累計額	△171	△160
その他の包括利益累計額合計	3,228	2,787
非支配株主持分	4,111	4,109
純資産合計	10,363	10,001
負債純資産合計	59,904	56,242



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	15,135	17,490
売上原価	14,492	16,337
売上総利益	643	1,152
販売費及び一般管理費	1,081	1,207
営業損失(△)	△438	△54
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	6	6
為替差益	—	9
その他	24	22
営業外収益合計	34	41
営業外費用		
支払利息	164	219
為替差損	14	—
その他	6	3
営業外費用合計	185	223
経常損失(△)	△589	△236
特別利益		
固定資産売却益	11	—
投資有価証券売却益	—	758
その他	32	22
特別利益合計	43	781
特別損失		
事業構造改善費用	—	357
固定資産売却損	1	0
特別損失合計	1	357
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△547	187
法人税等	70	112
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△618	74
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△613	80

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△618	74
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△472
為替換算調整勘定	△570	23
退職給付に係る調整額	17	10
その他の包括利益合計	△561	△437
四半期包括利益	△1,180	△362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,009	△360
非支配株主に係る四半期包括利益	△170	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディ アナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	3,353	1,724	3,613	1,561	4,171	711	15,135
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	656	9	59	69	0	2	798
計	4,009	1,734	3,673	1,631	4,171	713	15,934
セグメント利益又は損失(△)	95	△490	114	171	△166	△8	△284

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△284
セグメント間取引消去	△4
子会社配当金	△298
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△589

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディ アナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	2,749	2,250	5,054	1,127	5,623	684	17,490
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	441	23	276	39	0	2	783
計	3,190	2,274	5,330	1,166	5,623	687	18,273
セグメント利益又は損失(△)	372	△393	△136	△75	463	△8	222

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	222
セグメント間取引消去	△95
子会社配当金	△363
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△236

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。